

	外 国 語	特活行事等	農 業	工 業	商 業	水 産	家 庭
会 津	石川 衛三 (本府) 早川 俊一 (会高)	好川 忠 (会高) 石川 進 (福西女)	塩田 諭 (本府) 鈴木健三郎 (福農)	佐久間俊忍 (本府) 松木 友正 (福大)	横山 茂 (本府) 宍戸 周一 (福商)		佐藤 貞子 (本府) 長谷沼美恵子 (喜女)
	石川 衛三 (本府) 早川 俊一 (会高)	立花 正敏 (相農) 成田 政栄 (内郷高)	村田 春男 (磐農) 鈴木健三郎 (福農)	佐久間俊忍 (本府) 松木 友正 (福大)	横山 茂 (本府) 高橋 幸一 (郡商)	塩田 諭 (本府) 富永 正 (小名水産)	佐藤 貞子 (本府) 神長 和子 (湯本高)
浜							

第4節 学力向上対策

昭和39年度の福島県教育委員会努力目標の第二に、「教職員の資質の向上をはかり児童・生徒の学力の向上につとめる。」ことがあげられている。

重要な課題である「児童・生徒の学力向上に努める」ために「教職員の資質の向上をはかる。」という具体的な方法によろうとしたのである。

教職員資質向上のための施策のおもなものは研修計画である。以下本年度開催された講習会等の実態を述べる。

1 学習指導法講習会

(1) 目 的

小学校および中学校における比較的教職経験の少ない教員や從来現職教育を受ける機会の少なかった教員に対し、学習指導法改善のための講習を実施し、授業の充実に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会

(3) 期 間

2日間

(4) 期日、会場

地区	管 内	期 日	会 場
県北	信 夫	5月27日～28日	福島市児童館
	安 達	5月26日～27日	梁川町梁川小
	安 達	5月28日～29日	二本松市杉田小
県南	安 積	5月28日～29日	郡山市金透小
	田 村	5月27日～28日	船引町船引中
	岩 瀬	5月26日～27日	須賀川市第二小
	西白河	5月14日～15日	白河市白河中央中
	東白川	5月13日～14日	棚倉町棚倉小
	石 川	5月12日～13日	石川町石川小・中
会津	南会津	6月3日～4日 6月4日～5日	田島町田島小 南郷村大宮小
	北会津	6月2日～3日	会津若松市城西小

耶 麻 両 沼	5月21日～22日 5月20日～21日	喜多方市第一小 会津坂下町坂下小
浜	石 城	5月20日～21日 5月21日～22日
	双 葉	5月13日～14日
	相 馬	5月12日～13日

(5) 主なる指導内容

- ① 授業充実の着眼と現職教育
- ② 教材研究のすすめかた。
- ③ 指導過程の合理化と指導技術の改善
- ④ 学習の評価
- ⑤ その他地域の実情による問題
(授業研究、複式学級における学習指導法)

(6) 主なる反省事項

- ① 本講習会の目的を明瞭にし、指導事項の徹底をはかりたい。
- ② 地域の実情に即した講習内容が編成されるよう弾力をもたせたい。
- ③ 年度当初に開催されたことは効果的であった。
- ④ 内容については、授業研究、演習、実践報告等がくみこまれたことはよかったです。
- ⑤ 資料となる中心テキストがあったことはたいへんよかったです。講習要項を準備したのもよかったです。
- ⑥ 参加者の態度はきわめて熱心であった。

2 教育課程研究集会の開催

小・中学校および高等学校について開催し、酷暑を克服して、尊い実践を発表し、研究協議をして、所期の目的を達成した。(詳細は第5章第3節参照)

3 学力向上推進校の委嘱

農村地区の中規模小・中学校8校を昭和38年度以来2か年継続で学力向上推進校に指定し、研究を依頼した。

(1) 目 的

本県児童・生徒の学力の向上を図るために、農村地区における中規模程度の小学校および中学校について、学校